

「宇宙的微調整：ニセ情報に騙されるな（科学の反乱 04）」

Greatchain

2019/07/14

Science Uprising という運動（神を認めず唯物論しか認めない科学に対する、科学者共同体内部からの反抗運動）が、ネット上に掲載されるユーチューブの急増から、ますます盛んになっていることがうかがえる。この表題のビデオの最後についている説明を、ここに翻訳紹介しよう。原題は、Fine Tuning: You Don't Suck! (Science Uprising 04)だが、この You Don't Suck の意味が分からないので、いろいろネット上で調べてみると、どうも、「お前は騙されている」と言って笑う者に対して、「お前こそ騙されている」と言い返すときに使う言葉のようだ。

私にちょっとした体験がある。数年前、小さな宗教者の国際会議で、個人的にインテリジェント・デザインの話になったとき、ある英国人が「ID というのは全く馬鹿げた理論なんだってね」と、いかにも恐る恐る私に聞くので、「いえ、そんなことはありませんよ、立派な科学理論ですよ」と答えると、彼は納得したようだった。彼の態度から、彼が宣伝のニセ情報を読んでおり、信じてよいのかどうか迷っていることがわかった。現在、我々はこのようなニセ情報に取り囲まれて生活している。「シリアのアサドは悪い奴なんだってね」「プーチンは悪辣な選挙違反で当選したんだってね」等々。この英国人の質問は、私が先日説明した、この理論は神の存在を前提にした馬鹿げた理論だ、という反対派の宣伝に基づいたものであるのは明らかで、この説明を彼がおかしいと思っていることも明らかだった。「騙されているのはお前の方だ」というセリフを、私も何べん使ったかしれない。相手が大きなニュースメディアや国家であれば、向こうが断然有利だが、ウソの宣伝がいかに巧妙でも、胡散臭さは強烈に臭うものだ。この「科学の反乱」も、そのような背景において起こっているのは確かである。以下翻訳：――

2019/06/24 に公開

我々の宇宙は単なる偶然だろうか？ それともそれは、微調整とインテリジェント・デザインの絶妙な証拠を示しているのだろうか？「科学の反乱」のこのエピソードは、科学的無神論者 **Lawrence Krauss** や **Bill Nye** のような人々の、我々の宇宙は特別なものでなく、科学者が観察する fine-tuning は、多数宇宙（multiple universes）の存在によって説明できるといふ主張を吟味するものである。

もっと多くのビデオや、関係する記事や本を見つけるには、ここを参照されるとよい——
<http://scienceuprising.com/>

出演している専門家には、**Bijan Nemati** (アラバマ大学代表科学研究者、元 NASA のジェット推進研究室、長期研究者)、**Frank Tipler** (Tulane 大学、数学物理学教授、*The Anthropic Cosmological Principle*「宇宙的人間原理」の共著者)、それに **Stephen Meyer** (PhD, Discovery Institute, Center for Science and Culture 所長、新著 *The Return of the God Hypothesis*) がいる。

他にもビデオがある：——

Information Enigma: Where does information come from?

Information drives the development of life. But what is the source of that information? <https://youtu.be/aA-FcnLsF1g>

Science Uprising Episode 1 - Reality: Real vs. Material

Has science proven we are all just matter? Or does reality extend beyond what we can see and touch?
<https://youtu.be/Fv3c7DWuqpM>

Unbelievable Myths Neil deGrasse Tyson and Co. Love to Tell

https://youtu.be/aJ_YXRA7uyw

Check out other videos from this playlist:

<https://www.youtube.com/playlist?list...>

Subscribe to our channel: <https://www.youtube.com/user/Discover...>

著名な科学者たちは、これまで大衆に証拠を提供するよりも、唯物論的な世界観を説教してきた。我々はここでそれを変えようとしている。客観的な科学的証拠は、我々の宇宙が盲目的で無目的だとは証明していない。それは我々が単に「肉の機械」だとは示していない。それは、進化の機械作用が、地上の生命の多様性を完全に説明できるとは、証明していない。これは**彼らが考えたがっている**ことである。どうか自分で考えて、納得して決心していただきたい。その用意はできていますか？ この反乱は始まったばかりだ。

——引用ここまで。

宇宙的微調整の圧倒的事実を受け入れざるを得なくなった、唯物論者たちは苦し紛れに、ダーウィン進化論を宇宙に適用して、宇宙が無数あるとすれば、その中に我々の宇宙のような**奇跡的な偶然**の起きるものがあるかもしれないか、と言っている。これは誰が考えてもおかしく、また私の知る限り、彼ら以外のあらゆる科学者が、その荒唐無稽を笑いものにしている。

スティーヴン・マイヤーは、天文学者ロバート・ジャストローの『神と天文学者』（2000）の有名な最後の文章を引用している――

理性の力を信仰して生きてきた科学者にとって、物語は悪夢のように終わる。彼は無知の山を征服しながら、懸命によじ登ってきた。彼が頂上をきわめようとして、最後の岩に足をかけようとしたとき、目にしたのは、そこに何世紀も前から坐っていた一群の神学者であった。

これをこう言うこともできるだろう――「**神と争い、神を亡き者にしようと懸命に努力してきた科学者が最後に気づいたのは、孫悟空のように、お釈迦様の手のひらの上で、お釈迦様と必死に戦っていた自分であった**」。

この方が、微調整の説明としては、より分かり易いのではないだろうか？